

水辺の小さな自然再生 事例データベース

事例番号	1HK12	地域	北海道	記入年月	2025年3月
------	-------	----	-----	------	---------

事例名称	サクラマスがのぼる石と木による手づくり魚道									
位置情報	都道府県名	北海道	市町村名	美幌町	緯度経度	43.801328, 144.126083	水系名	網走川	河川名	駒生川
取組概要	昭和50年代に設置された複数の落差工の落差解消のため、地域住民が一丸となって、地元産の木材や畑から取り除かれた石を使って、手づくり魚道を製作した。また、コンクリートで固められた川底に木材などを設置し、多様な流れを生み出すことで、水生生物の生息環境を復元した。上流域で絶滅したサケ科魚類が甦り、オジロワシやヒグマの生息を確認し、自然豊かな流れを取り戻しつつあります。									
再生目的	生物環境	対象種	サクラマス、サケ							
	物理環境	連続性回復	魚道（縦断）	○	魚道（横断）	-				
		生息・生育・繁殖場造成	瀬淵	-	ワンド・たまり	-				
			二次流路	-	水際植生	-				
			攪乱	-	空隙	-				
その他	-									
開始年	2011	工法	突出し型木製斜路魚道（水路タイプ）、突出し型木製箱型魚道（プールタイプ）							
実施体制	実施主体	駒生川に魚道をつくる会								
	連携者	美幌博物館、東京農業大学、北海道技術コンサルタント、北海道開発局、北海道オホーツク総合振興局、美幌町、ふるさと美幌の自然と語る会、オホーツク魚類研究会、美幌町郷土誌研究会								
効果	2009年からモニタリング調査を実施し、サクラマスやイワナの遡上が確認・増加している。									
関連資料 URL	旧カルテ	http://www.a-rr.net/jp/collaboriver/02oldkarte/RFC1HK12karte.pdf								
	事例集記事	http://www.a-rr.net/jp/collaboriver/03casebook/RFC1HK12casebook1.pdf http://www.a-rr.net/jp/collaboriver/03casebook/RFC1HK12casebook2.pdf								
	現地研修会報告書	-								
参考情報 URL	https://www.town.bihoro.hokkaido.jp/uploaded/attachment/5908.pdf https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ki/chousei/ud49g700000007vr-att/slo5pa000000mknv.pdf https://www.japanriver.or.jp/taisyo/oubo_jyusyou/jyusyou_katudou/no20/no20_pdf/komaai.pdf									



本表は、公開情報及び関係者ヒアリングに基づき作成したものです。誤った情報、修正・更新を要する情報、新たに追加したい事例等がございましたら、（公財）リバーフロント研究所・リバロサポートセンターまでお知らせください。 Email: supportcenter@rfc.or.jp